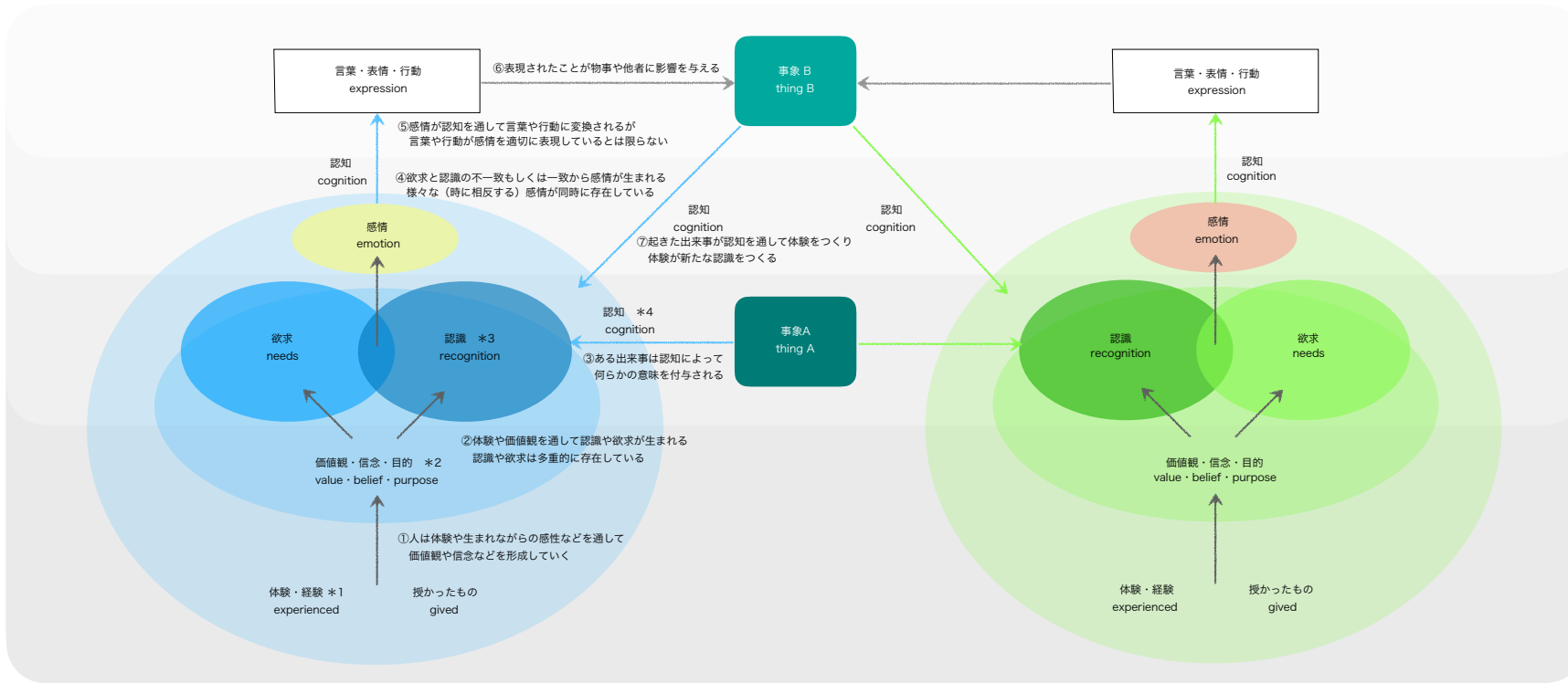


なぜ言葉は思ったように伝わらないのか —言葉や行動の生まれる仕組みとコミュニケーション—



インフォメーション：
起こった事象とそれに対する言葉や行動、見えているものや明らかになっているものについてのみやりとりをする

共感風コミュニケーション：
言葉や行動の元となった感情や背景について、自分自身の基準に照らし合わせてやりとりをする

共感的コミュニケーション：
感情を生み出した欲求や認識について双方の基準を照らし合わせながらやりとりをする

共認的コミュニケーション：
欲求や認識を生み出す価値観や信念、その元となっている体験などについて双方がユニークな視点や感覚をもち、それぞれの物語を生きているという前提のもとにやりとりをする
そのプロセスを通じてお互いの認知や認識自体が更新されていく

*1：ここで言う「体験」とは「主観的に認知された外的・内的事象」のこと 国や時代などからくる地域的・文化的慣習も含まれる
*2：ここでは「物事の価値に対する考え方・捉え方」のうち、無意識的に選択されているものを「価値観」、意識的に選択しているものを「信念」と表現し、「中でも自分にとって大切だと捉えているもの（無意識・意識を含む）」を「目的」と表現している
*3：ここで言う「認識」とはある対象を把握した結果なされた意味づけのこと
*4：ここで言う「認知」とは対象に意味づけをするプロセスのこと 感情を言葉や行動に変換するプロセスも含み 意識・無意識どちらも含む

前提としている考え

- 人は自分の持つ認識を通して世界を見ている
- 認識は経験との相互作用により変化する動的なものである
- 人の感情や行動は事象そのものによって起こるのではなく、その事象に対する認識やその人の持っている目的に応じて発動する

2019.06.24 awai Sou Satoh